

市民協働 つてなに?

第5回 市民公益活動団体の登録を開始します

市では、ことし4月の「させば市民活動交流プラザ」の開設を前に、市民公益活動団体の登録を開始します。同プラザ開設後は、登録団体の紹介や団体への情報提供などを行い活動を支援していきます。



主な登録条件

市内を中心に活動しているNPO法人やボランティア団体であること（政治的・宗教的な目的で活動しているものや、営利目的のものを除く）

登録項目

団体名、活動分野、活動内容、代表者名、連絡先など（各項目ごとに公開・非公開を確認します）

受付期間

2月1日から随時受け付け

申し込み

所定の様式で市役所市民協働推進室へどうぞ。登録料は無料

市民公益活動団体向け専門研修会を開催

と き 2月17日（木）19時～21時
と ころ アルカスSASEBO・スピカ研修室1
講 師 人と組織と地球のための国際研究所（IIHOE）代表・川北秀人さん
内 容 NPO法人やボランティア団体などの市民公益活動団体の運営や、行政との協働のあり方など
申し込み 電話で市役所市民協働推進室に
 参加料は無料

お尋ね 市役所市民協働推進室(☎24-1111)

佐世保市市民栄誉賞の受賞 おめでと〜いございます

本市で新たに創設された「佐世保市市民栄誉賞」の表彰式が、1月7日、佐世保市役所で行われ、第1号受賞者の城島健司さんに市長から表彰状と記念品が贈られました。



表彰式で受賞の喜びを語る城島健司さん

（優秀選手）に選ばれました。昨年のアテネオリンピック・野球競技では、全日本代表チームの4番打者・捕手として活躍し、日本の銅メダル獲得に大きく貢献しました。野球での目覚ましい活躍に加えて、毎年本市で、少年野球教室を開催したり、福祉施設を訪問したりするなど、子どもたちに夢と希望を与える交流活動も続けています。



昨年の少年野球教室で、打撃のポイントをアドバイス

佐世保市市民栄誉賞

芸術、文化、スポーツなど各分野で、市民に夢と希望を与えるなどの功績が顕著で、郷土の誇りとして広く市民に敬愛されるものに贈られます。

城島健司さんのプロフィール

今回、同賞初の受賞者に選ばれた城島健司さんは、1976（昭和51）年生まれ、28歳。中学生までを本市で過ごし、大分県の高校を卒業後、プロ野球の道に進みました。平成15年には、パ・リーグ捕手として最高打率を樹立し、MVP（最

お尋ね

市役所秘書課
(☎24-1111)

3月1日〜7日は 春の火災予防運動

3月1日から7日まで、全国一斉に火災予防運動が実施されます。春先は空気が乾燥して、火災が発生しやすくなります。わたしたち一人ひとりが火災の予防を心掛けて、火災による死傷事故や財産の損失をなくしましょう。

平成16年中の市内の火災発生状況

火災発生件数	87件	前年比13件増
焼損棟数	62棟	前年比6棟減
被災世帯数	47世帯	前年比13世帯減
被災人数	134人	前年比15人減
死亡者数	5人	前年比4人増
負傷者数	8人	前年比10人減

平成16年中の傾向

火災発生件数87件の内、約6割が建物火災で、そのうち住宅火災が約7割を占めています。火災の主な原因はコンロやタバコの火の不始末、放火（疑いを含む）、電灯・電話などの配線からの出火、たき火でした。消防局では住宅火災の減少を目指して、ことしも火災予防運動を実施していきます。

不要になった消火器の処分

燃やせないごみ（不燃ごみ）として出すことはできません。●買い替えのときに業者に、引き取ってもらう ●最寄りの消防設備専門業者に問い合わせ、引き取ってもらう ●ご家庭で不要になった消火器は、危険ですから分解や解体は絶対にやめましょう。

お尋ね

消防局予防課
(☎23-9256)

家庭ごみの出し方が変わりました

再度ご確認ください



1月10日から、燃やせるごみ（可燃ごみ）と燃やせないごみ（不燃ごみ）は、指定ごみ袋を「買って」、「分けて」、「ごみ処理券を「張って」出すようになりました。市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

ごみを減らしていくと、新たにごみ処理券を購入しなくて済みます。配布された無料ごみ処理券の範囲内で済ませましょう。

家庭ごみは決められたごみステーションに正しく捨てましょう。スーパーやコンビニ、公園などのごみ箱には捨てられません。

説明会に参加してみませんか

新しい制度の内容やごみ減量の方法について、町内会や自治会などのご要望に応じて職員が出向き説明をします。市廃棄物・リサイクル対策課へお申し込みください。

お尋ね

ごみ処理券は 市環境部総務課
ごみの分別や出し方は (☎31-6520)
市廃棄物・リサイクル対策課 (☎24-2428)